



紙芝居で披露した「アメッコおこう」



笑顔が素敵な裕子さん

優

しく情緒ある秋田弁で、昔話「若返りのたまご」を披露したのは**安保裕子さん**(美園町)。1つ食べれば20歳若返り、2つ食べれば40歳若返り…という話に、司会のかたの一言「そういう卵があればぜひ食べてみたいもんだすな」で場内大爆笑。入会して6年という裕子さんは、県内で活動する「あきた民話の会」の会員でもあるとのこと。「生まれは新潟、育ったのは阿仁なんです。小さいころに疎開であちこち転校しなければならなかったとき、その土地の方言に触れる機会もあったし、何より秋田弁の言葉のつながりが好きでね。今こうして昔話を語っていると、秋田弁って相手の心に染み入るいい方言だなんて思いますね」と裕子さん。昔話も相当覚えたんじゃありませんか? 「まあ、結構ね(笑)。披露する機会があると覚えようって気にもなるし。いつでもどつぞ、聞きにきてください」

今

日はたくさん来てくれて良かった」と笑顔を見せる会長の**河田竹治さん**(赤館)にお話を伺いました。以前は小学校の先生だったそうで「昭和20年代後半の集団就職が盛んなころ、東京で面接を受けると、秋田弁でしゃべるもんだから言葉が通じなくて雇ってもらえなくてね。それではと、毎朝、小学校の校内放

あってグッド

歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

市民の皆さんが
たくさん登場

募集

ご町内でのイベントをお知らせください。
取材に伺います。広報広聴係 ☎43-7025

これまでの **820人**
登壇者数 **80,323人**
(H22.11.1現在)

「あってグッド」は、歩いて行くの方言「あってえぐ」と会って良かった(グッド)を掛け合わせ、もじったものです。



高校生も秋田弁を使いこなし、民話を披露



「関心のあるかたは会に入って」と竹治さん

送で発音やアクセントの共通語指導をしたもんです。今では、津軽弁など方言が堂々と話されてますし、秋田弁も負けずにごんとんしゃべって欲しいですね。昔話には道徳観を育む価値があり、秋田弁には、敬語や古語、情感あふれる言葉がたくさんあるんですよ」と話す竹治さん。ところで、話の終わりの『どつと』は「どつと?」「どつと」はすべて、『はれ』は払ってしまふこと。この話は全部終わりとという意味なんです。昔話の最初に『むがしむがし』や『あく、じつちやどは』ばどいだつけど、これが発音、『どつとはれ』は結句と言っんです。なるほど!! さて、会では会員募集中とか? 「年を取ると、物忘れもするようになってくる(笑)。すばらしい秋田弁と昔話の良さを、若い世代に語り伝えていかなければと思ってるんです」とのこと。皆さん、特に若い世代のかた、お待ちしてまーす!

最 近は、秋田弁で会話をする子どもたちが少なくなったように感じるかたも多いのでは…。ふるさとの言葉、秋田弁っていいもんだすよな。みんなして、いっぺしゃべっていがねすか! どつとはれ! (では、次回もあってグッド!)



秋田弁と昔話を楽しむ会では、会員を募集しています。活動日は第1土曜または第1日曜日、13時30分から15時。場所は中央公民館。申し込みは会長の河田さん(☎42-4245)